

## A Remark on derived equivalences and perfect isometries

切刀直子 (Naoko Kunugi)

愛知教育大学・数学教育講座 (Aichi University of Education)

### 1 Introduction

$(K, \mathcal{O}, k)$  を十分大きな  $p$ -modular system とする。有限群  $G, H$  に対し、 $A, B$  をそれぞれ  $G, H$  のブロックとする。 $A, B$  の間に derived equivalence があれば、 $A, B$  の間に perfect isometry が存在するが、逆は一般には成立しない (例えば、 $p=2$  のとき、 $OD_8$  と  $OQ_8$  の間では perfect isometry が存在するが、derived equivalence は存在しない)。

ここでは、cyclic defect をもつ block の perfect isometry と derived equivalence について考えたい。Cyclic block については Brauer tree algebra であることから、いろいろな人によりいろいろなことが調べられている。ここでの話は、それらの結果から容易にわかるものばかりであると思う。

以下の話で使う Derived equivalence や perfect isometry の定義などの一般論は、Broué ([1], [2]), Rickard([6], [7], [8]), Rouquier([10]) などの文献を参照していただきたい。

### 2 Example

まず、例を紹介する。

$G = Sz(8)$ ,  $p=5$  とする。 $|G| = 29120$  であり、 $G$  の Sylow 5-部分群  $P$  は位数 5 の巡回群  $C_5$  となる。 $G$  には 位数 3 の巡回群  $S \cong C_3$  が作用していて、 $H = C_G(S) = N_G(P) \cong C_5 \times C_4$  である。

$A$  を  $G$  の principal block とし、 $B$  を  $H$  の principal block とする。 $A, B$  の decomposition matrix は次の通りである。

	$k$	$14_1$	$14_2$	$63$		$1_a$	$1_b$	$1_c$	$1_d$
$\chi_1$	1					$\theta_{1_a}$	1		
$\chi_{14_1}$		1				$\theta_{1_b}$	1		
$\chi_{14_2}$			1			$\theta_{1_c}$		1	
$\chi_{64}$	1			1		$\theta_{1_d}$			1
$\chi_{91}$		1	1	1		$\theta_4$	1	1	1

これより  $A, B$  の Brauer tree がわかるが、ここでは省略する。Rouquier は cyclic block に対して、splendid tilting complex の構成を与えている ([9] を参照)。それにしたがって、この場合の splendid tilting complex を構成すると、

$$0 \longrightarrow P_{14_1} \otimes P_{1_c} \oplus P_{14_2} \otimes P_{1_b} \longrightarrow M \longrightarrow 0$$

となる。ただし、 $M$  は  $A$  を  $k[G \times H]$ -module としてみたときの唯一つの vertex  $\Delta(P)$  の直既約因子である。この splendid tilting complex により誘導される perfect isometry は

$$\begin{pmatrix} \chi_1 \\ \chi_{14_1} \\ \chi_{14_2} \\ \chi_{64} \\ \chi_{91} \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} \theta_{1_a} \\ -\theta_{1_b} \\ -\theta_{1_c} \\ \theta_4 \\ \theta_{1_d} \end{pmatrix}$$

となることが計算できる。

一方この設定では  $A$  と  $B$  の間の Glauberman 対応を考えることができ、次のような perfect isometry を与えていることが示されている (Watanabe [11] を参照)。

$$\begin{pmatrix} \chi_1 \\ \chi_{14_1} \\ \chi_{14_2} \\ \chi_{64} \\ \chi_{91} \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} \theta_{1_a} \\ -\theta_{1_b} \\ -\theta_{1_d} \\ \theta_4 \\ \theta_{1_c} \end{pmatrix}$$

この perfect isometry を与えるような splendid tilting complex が存在するかどうか考えたい。実際、これは次の定理などを使うことにより、比較的容易に構成することができた。

**Theorem 2.1 (Rickard[8])**  $A, B$  を symmetric  $k$ -algebra とする。  $F : \text{mod}A \rightarrow \text{mod}B$  を exact functor で、stable equivalence を導いているとする。  $\{S_1, \dots, S_r\}$  を simple  $A$ -module の全体とする。

このとき、  $F(S_1), \dots, F(S_r)$  に stably isomorphic な complex  $X_1, \dots, X_r$  で、

- (i)  $\text{Hom}_{D^b(\text{mod}B)}(X_i, X_j) = \delta_{ij}$
- (ii)  $\text{Hom}_{D^b(\text{mod}B)}(X_i, X_j[m]) = 0$  for  $m < 0$
- (iii)  $X_1, \dots, X_r$  は  $D^b(\text{mod}B)$  を生成

を満たすようなものが存在すれば、  $A$  と  $B$  は derived equivalent である。

ここでの例では、bimodule  $M$  により stable equivalence  $F = - \otimes_B M^*$  が与えられている。  $F(S)$  は  $S$  の Green 対応子に一致する。次のような complex を考える。

$$\begin{array}{l} X_a: \quad \quad 0 \rightarrow k \rightarrow 0 \\ X_b: \quad 0 \rightarrow P_{14_1} \rightarrow F(1_b) \rightarrow 0 \\ X_c: \quad \quad 0 \rightarrow F(1_c) \rightarrow 0 \\ X_d: \quad \quad 0 \rightarrow F(1_d) \rightarrow P_{14_2} \rightarrow 0 \end{array}$$

これらの complex は simple  $B$ -module の  $F$  による像に stably isomorphic であり、Rickard の定理 (Theorem 2.1) の条件を満たしている。このとき、splendid tilting complex  $X$  で、  $1_i \otimes_B X \cong X_i$  となるものが存在することもわかる (Holloway [3] 参照)。  $X$  は  $\mathcal{O}$  の splendid tilting complex に lift でき、これにより誘導される perfect isometry が Glauberman 対応により与えられるものに一致する。

### 3 Remark

Cyclic block に対しては、次のことがわかる。

**Remark 3.1**  $p$  を奇素数とし、 $A, B$  は共通の cyclic defect group  $D$  と共通の inertial group  $E(\neq 1)$  を持つとする。このとき  $A$  と  $B$  の間の任意の perfect isometry に対し、splendid tilting complex  $X$  で、 $X$  の誘導する perfect isometry が non-exceptional character において  $I$  と一致するようなものが存在する。

Perfect isometry では必ず exceptional character は exceptional character に対応することと、Rouquier [9] により  $A, B$  はともに  $\mathcal{O}[D \times E]$  に splendid equivalent であることに注意すると、上の Remark は次のことからわかる。

**Proposition 3.2**  $C = k[D \times E]$  とおく。 $C$  の simple module を  $S_1, S_2, \dots, S_e$  とし、 $S_i$  に対応する指標を  $\chi_i$  とする。ただし、 $S_{i+1} = \Omega^2 S_i$  とする。このとき、 $1 \leq n < e$  に対し、

$$\begin{aligned} I(\chi_n) &= \chi_{n+1} \\ I(\chi_{n+1}) &= \chi_n \\ I(\chi) &= \chi \quad (\chi \neq \chi_n, \chi_{n+1}) \end{aligned}$$

なる perfect isometry  $I$  を誘導する splendid tilting complex  $X$  が存在する。

これに対しては、先ほどのように Rickard の定理 (Theorem 2.1) を満たす complex を見つけておけばよい。 $1 \leq i \leq e$  に対して、complex  $X_i$  を

$$\begin{array}{ccccccc} X_i : & & & 0 & \longrightarrow & S_i & \longrightarrow 0 \quad (i \neq n, n+1) \\ X_n : & 0 & \longrightarrow & P_{n+1} & \xrightarrow{\psi_n} & P_n & \xrightarrow{\phi_n} S_n \longrightarrow 0 \\ X_{n+1} : & & & 0 & \longrightarrow & P_{n+1} & \xrightarrow{(\psi_n, \phi_{n+1})} P_n \oplus S_{n+1} \longrightarrow 0 \end{array}$$

とする。ただし、

$$\begin{array}{ccccccc} P_{n+1} & \xrightarrow{\psi_n} & P_n & \xrightarrow{\phi_n} & S_n & \longrightarrow & 0 \\ & & P_{n+1} & \xrightarrow{\phi_{n+1}} & S_{n+1} & \longrightarrow & 0 \end{array}$$

はともに minimal projective resolution であるとする。

$F = - \otimes_C C : \text{mod } C \rightarrow \text{mod } C$  は (自明な) stable equivalence を与えるが、上で定義した  $X_i$  は  $F(S_i)$  と stably isomorphic であり、Rickard の定理の条件を満たしている。よって、splendid tilting complex  $X$  で、 $S_i \otimes_C X \cong X_i$  となるものが存在することがわかる。 $X$  は  $\mathcal{O}$  の splendid tilting complex に lift でき、これにより誘導される perfect isometry を計算すると、命題の主張のようになる。

**Remark 3.3** exceptional character でのずれは ( $\mathcal{O}$  上の) derived equivalence により調整できるはずである ([5] などを参照)。

## 参考文献

- [1] M. Broué, Isométries parfaites, types de blocs, catégories dérivées, *Astérisque* **181-182** (1990), 61–92.
- [2] M. Broué, Equivalences of blocks of group algebras, in *Finite Dimensional Algebras and Related Topics*, (edited by V. Dlab and L.L. Scott) Kluwer Acad. Pub., Dordrecht, 1994, pp.1–26.
- [3] M. Holloway, Broué's conjecture for the Hall-Janko group and its double cover *Proc. London Math. Soc.*,(3) **86** (2003), 109–130.
- [4] M. Linckelmann, Stable equivalences of Morita type for self-injective algebras and  $p$ -groups, *Math. Z.*, **223** (1996), 87–100.
- [5] M. Linckelmann, On stable equivalences of Morita type. in “Derived equivalences for group rings” *Springer Lecture Notes in Math.* **1685**, (1998) 221–232
- [6] J. Rickard, Morita theory for derived categories, *J. London Math. Soc.* (2) **39** (1989), 436–456.
- [7] J. Rickard, Splendid equivalences : Derived categories and permutation modules, *Proc. London Math. Soc.* (3) **72** (1996), 331–358.
- [8] J. Rickard, Equivalences of derived categories for symmetric algebras, *J. Algebra*, **257** (2002), 460–481.
- [9] R. Rouquier, The derived category of blocks with cyclic defect groups, in “Derived equivalences for group rings” *Springer Lecture Notes in Math.* **1685**, (1998), 199–220.
- [10] R. Rouquier, Block theory via stable and Rickard equivalences, in “Modular representation theory of finite groups” (Charlottesville, VA, 1998) pp.101–146, de Gruyter, Berlin, 2001
- [11] A. Watanabe, The Glauberman character correspondence and perfect isometries for blocks of finite groups, *J. Algebra* **216** (1999), 548–565